

1. 準備

(製品名・機種型番等は、現時点でバイオバンクが採用しているものを提示している)

- 滅菌スクリュースピッツ 10 mL (栄研化学)
- 遠心管 コニカル型 15 mL (TPP)
- 48 Jacket Tubes 2.0 mL External-Type (FCR & Bio)
- 100穴フリーザーラック(2D用) (FCR & Bio)



滅菌
スクリュースピッツ
10 mL
(栄研化学)



遠心管
コニカル型
15 mL
(TPP)



48 Jacket Tubes 2.0 mL
External-Type
(FCR & Bio)

2. 採取

- 2-1. 採尿カップに採取した尿を、滅菌スクリュースピッツに移す。
- 2-2. 冷蔵庫に一時保存（保存時間は個別検体情報として記録）。

※バイオバンクでは尿の採取は担当しておりません。

※臨床検査部で一時冷蔵保存せずにバイオバンクに移送する場合もある。

3. 分離と分注

- 3-1. 保存している尿をバイオバンクに移送（on ice）。
- 3-2. 遠心管 コニカル型 15 mL に尿を移し替え、4℃で2,330~2,360×g、5分間遠心分離。
- 3-3. 検体番号ラベルを貼ったチューブに（1,500 μL/tube）分注。

4. 保管

- 4-1. チューブは100穴フリーザーラック（2D用）に並べ、超低温（-80℃）フリーザーで保管。
- 4-2. 検体管理システムに検体情報を入力。

- 採取～超低温（-80℃）フリーザーでの保管は24時間以内に行う。
- 作業環境温度：室温（12℃～28℃）で実施